

二〇三五番

年としにありて 今いまかまくらむ ぬばたまの 夜霧よぎり隠か
れる 遠妻とほづまの手てを

二〇三六番

我あが待まちし 秋あきは来きたりぬ 妹いもと我あれと 何事なにことあれそ
紐解ひもとかずあらむ

二〇三七番

年としの恋こひ 今こよひ夜ひつ尽くして 明日あすよりは 常つねのごとく
や 我あが恋こひひ居をらむ